

市政に対する

一般質問

一般質問は12月14日、15日、16日の3日間にわたって行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。

なお、会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。また、本会議の会議録は、ホームページでご覧いただくこともできます。ただし、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

東埼玉テクノポリス工業団地の拡張について

松崎 誠

(問) 今秋、新駅建設着工に着手し、駅周辺地区との整合性もある中で東埼玉テクノポリス工業団地の拡張について基本的考えと方向性について。

(答)市長 武蔵野操車場跡地周辺の整備を先行し、その後、東埼玉テクノポリス工業団地の拡張を進めるとした当市の基本的考えに変更はございませんので、今後も引き続き、新駅周辺地区の進捗状況を見ながら、東埼玉テクノポリス工業団地の拡張事業の実現に向けて、努めてまいりたいと考えております。

(問) なごみ堤強化対策事業及び防災ステーション整備事業の進捗状況について。

(答)市長 なごみ堤強化対策事業の用地買収状況については、平成21年11月末現在で、旭地区の買収面積は約73%の進捗状況となっております。完成年度の見通しにつきましては、平成25年度を目標に進めていくと国土交通省から聞いており

ます。

(問) 下内川地区、旭小学校通学路の整備について。

(答)都市建設部長 旭小学校北側の市道1-108号線については、集落間を結ぶ幹線道路で、通学路に指定されておりますが、道路の幅員は狭く、車同士のすれ違いに支障が生じていることから、整備の必要性は認識しているところで、交通安全性を図るために、道路わきの水路を利用して、車のすれ違いのできる、待避スペースの設置を検討してまいります。

「介護保険制度」のさらなる充実を！

稲垣 茂行

(問) 「介護の社会化」をさらに充実するには、人材の育成が肝心。現場感覚のある専門性を持った人材の採用・配置と志の高い職員育成が大切と考えるが。

(答)市長 担当部署に資格者を配置し、対応している。今後現場の状況を把握する体制を整え、職員の育成と能力向上に努める。

(答)健康福祉部長 いきいき推進課に保健師1名、看護師1名、社会福祉主事2名を配置、非常勤として助産師、看護師等、全体で10名を配置。

(問) 市直営の地域包括支援センターを、最低1カ所設置し、地域包括の基幹的役割を果たさせたらどうか。また、地域包括が受け持つ業務内容に対し、人員体制が不足していないか。特に、虐待への対応等、公の力を必要とすることに、対処できるのか。

(答)市長 3カ所の地域包括に業務を委託しているが、基幹的役割は市が直接担っている。定期的に地域ケア会議を開催し、専門家の意見も聞きながら行っている。

(答)健康福祉部長 虐待については、市への報告があった後は市職員が実態調査に入り、県へ報告し対応している。

(問) 社会福祉協議会を、地域が必要とする質の高いサービス提供や地域再生への支援を担う組織にすべきでは。

(答)市長 社会福祉事業が本来の役割だと考える。地域密着型サービス提供は、民間事業者の参入を促すよう努める。